

# 「V1+V2」型複合動詞とそれに対応する「連用形名詞＋（を）する」表現

## — 「連用形名詞＋（を）する」表現の認定を中心に—

### the “Verb1+Verb2” Type of Compound Verbs and their Corresponding Forms

#### “Renyo-form Nouns+Suru”:

#### Focusing on the Certification of the “Renyo-form Nouns+Suru”

王 淋萱

Wang Linxuan

### 摘要

Some “Verb1+Verb2” compound verbs in modern Japanese have the corresponding renyo-form nouns, and can be used as form “renyo-form noun+(wo)+suru”, such as “uchi-ageru” (“uchi-age suru”), “mi-mau” (“mi-mai wo suru”) and “kumi-tateru” (“kumi-tate suru” / “kumi-tate wo suru”). However, there are some compound renyo-form nouns that have the form “renyo-form noun+(wo)+suru” but no corresponding compound verbs, including “tachi-uri” (“tachi-uri suru”), “morai-warai” (“morai-warai wo suru”) and “kui-nige” (“kui-nige suru” / “kui-nige wo suru”) that do not have corresponding verbs “\*tachi-uru”, “\*morai-warau” or “\*kui-nigeru”. This paper aims to compile a list illustrating the relationship between “renyo-form noun+(wo)+suru” and compound verbs (presence or absence).

This study examined the possibility of forming “renyo-form noun+(wo)+suru” using dictionaries, the Balanced Corpus of Contemporary Written Japanese (BCCWJ), and Google's search engine. Consequently, 230 of approximately 2700 corresponding verbs can be used as “renyo-form noun+suru”, and 269 of approximately 2700 corresponding verbs can be used as “renyo-form noun+wo+suru”. In contrast, 92 out of 161 compound renyo-form nouns without corresponding verbs can be used as “renyo-form noun+suru”, while 70 out of 161 can be used as “renyo-form noun+wo+suru”.

The list indicates that the presence or absence of the form “renyo-form noun+(wo)+suru” is heavily influenced by the use or non-use of the corresponding compound verb form. In the absence of the corresponding compound verb, a much greater proportion can be used as “renyo-form noun+(wo)+suru”. Because there are no compound verb forms, new verb phrases are created to express actionability. When a compound verb and its corresponding form “renyo-form noun+(wo)+suru” exist concurrently, there are differences in their meaning. Additional research is required to clarify these distinctions and the characteristics of compound verbs with the form “renyo-form noun+(wo)+suru”.

キーワード：「V1+V2」型複合動詞 「連用形名詞+（を）する」 リスト化

Keywords: “Verb1+Verb2” Type of Compound Verb; “Renyo-form Noun+(Wo)+Suru”; Wordlist

## 1. はじめに

本稿の目的は、「書き込む」と「書き込み（を）する」のように「V1+V2」型複合動詞とそれに対応する「連用形名詞+（を）する」表現をリスト化することである。

西尾（1961）は連用形名詞を「動詞の連用形から形成されたと考えられる名詞」と定義した上で、「動詞連用形だけで成り立っている名詞」と「動詞連用形を含んでいる名詞」の2つのタイプに分け、それぞれのタイプをさらに詳しく分類した。以下の(1)は西尾（1961）による「動詞連用形だけで成り立っている名詞」の下位分類である。

### (1) 動詞連用形だけで成り立っている名詞

い 連用形一つで成り立っているもの

(A) 遊び・扱い・救い・うねり・悩み・構え・企て・傾き・感じ・察し

ろ 連用形二つ以上で成り立っているもの

(B) 受け入れ・請負・組立て・組合わせ・折れ合い・申入れ・突っ張り合い

(C) 売れ行き・飛び読み・切り売り・すくい投げ・吸い飲み・立射ち・思い出し笑い

(D) 売り買い・貸し借り・上げ下げ・上がり下がり・出し入れ・乗り降り・浮き沈み

(1)に示すように、「い」(A)は単一の連用形から成り立つもので、「ろ」(BCD)は連用形2つ以上を含むものである。「ろ」のうち、(B)は「V1+V2」型複合動詞（以下、複合動詞と呼ぶことにする）の連用形が名詞化したもの、つまり複合動詞に対応する連用形名詞である。ただし、すべての複合動詞に対応する連用形名詞を持つとは限らず、「言い当てる・\*言い当て」、「打ち勝つ・\*打ち勝ち」のような複合動詞の連用形は名詞として使用されない。

また、(C)と(D)は複合動詞形を持たない連用形名詞であるが、(C)は起源と語構造の観点から複合動詞との対応関係を持っており、それに対して(D)は「対比的な概念を表す動詞の連用形二つが並列関係にあるもの」で、複合動詞との対応関係を成していない(西尾 1961: 64)。そのため、(C)は本稿の考察対象になるものであるが、(D)は考察の対象としない。

複合動詞連用形名詞の一部には、以下の(2)の示すように、「する」または「をする」と結合して「連用形名詞+（を）する」という形で使用されるものがある。

(2) a. さっき、健太が立ち読みしていた本だった。 （あすか正太『恋する国家権力』）

b. 集合住宅に引越しをしてBフレッツ光に申込みをしました。 (Yahoo!知恵袋 2005)

ただし、すべての連用形名詞が対応する「連用形名詞+（を）する」表現を持つとは限らない。例えば、「知り合う」に対応する「知り合いする」、「当たり障り」に対応する「当たり障りする」は使われない。

以上で述べた複合動詞と連用形名詞の対応関係をまとめると表1のようになる。

表1 複合動詞と連用形名詞の対応関係

	複合動詞	連用形名詞	複合動詞と連用形名詞の対応関係	例
A	あり	なし	対応する連用形名詞のない複合動詞	言い当てる、 打ち勝つ
B	あり	あり	複合動詞とそれに対応する連用形名詞	書き込む・書き込み 引越す・引越し
C	なし	あり	対応する複合動詞のない連用形名詞	立ち読み 飲み捨て

表1に示すように、全ての複合動詞が「連用形名詞+（を）する」表現と対応しているわけではない。そこで本稿では、同じく動作性の概念を表す複合動詞と「連用形名詞+（を）する」表現がどのような語において共存し、どのような語において共存していないのかを明らかにすることを目的とする。

## 2. 先行研究

「V1+V2」型複合語を扱う研究に、鈴木（2014, 2018）がある。鈴木（2014）は、『大辞林・第三版』及び『日本国語大辞典 第二版』を資料とし、対応する動詞の形を持たない「V1+V2型」複合名詞を網羅的に抽出し、使用される分野によって分類リストを作成した。鈴木（2014）のリストは、以下の表2のようにまとめられる。

表2 鈴木（2014）のリストのまとめ

分類	数	例
現代日本語において一般的に用いられるもの	166 語	「逢い引き」「上がり下がり」「当たり障り」 「別れ別れ」「選り好み」…
使用分野が特定されるもの	250 語	<工芸用語> 「合わせ吹き」「浮き彫り」「受け貼り」… <料理用語>

		「揚げ煮」「落とし焼き」「撫で切り」… <金融・取引用語> 「請け書き」「売り掛け」「掛け買い」… (計 24 種類)
日常的に用いられにくいもの	85 語	「当て仕舞い」「洗い替え」「追い書き」…
対応する動詞形が用いられにくいもの	20 語	「居眠り」「取り引き」「病み上がり」…
対応する動詞形を想起しにくいもの	2 語	「思い出(思ひづ)」「巻き添え(巻き添ふ)」

さらに、鈴木(2018)では、鈴木(2014)に基づいて、辞書調査・コーパス調査・インターネットの検索エンジン Google を用いたウェブ検索(以下、「ウェブ検索」と呼ぶことにする)という手順で「V1+V2型」複合名詞のサ変動詞化可能かどうかを確認し、サ変動詞化可能な語に対応する動詞形の有無によって2つのグループに分け、リストを作成した。これをまとめると以下の表3のようになる。

表3 鈴木(2018)のリストのまとめ

大分類	小分類	抽出方式	数	例
対応する動詞形のないV1+V2型複合名詞	サ変動詞化できるもの	辞書に記載の品詞情報により抽出したもの	73 語	「上がり下がり(スル)」、「飽き飽き(スル)」、「討ち死に(スル)」…
		BCCWJとウェブ検索により抽出したもの	26 語	「逢い引き(スル)」、「覚え書き(スル)」、「満ち欠け(スル)…」
	サ変動詞化できないもの	対応する動詞形のないV1+V2型複合名詞全体から、サ変動詞化できるものを除いたもの	62 語	「言いなり」、「生き埋め」、「当たり障り」、「生き写し」、「使い歩き」…
対応する動詞形が現代日本語として用い	サ変動詞化できるもの	辞書・BCCWJの品詞情報及びウェブ検索により抽出したもの	16 語	「上げ下ろし(スル)」、「行き帰り(スル)」、「取り引き(スル)」…

られにくいもの	サ変動詞化できないもの		4 語	「行き止まり」、「押し引き」、「伸び盛り」、「病み上がり」
対応する動詞形のある V1 + V2 複合名詞	サ変動詞化できるもの	辞書・BCCWJ の品詞情報により抽出したもの	98 語	「預け入れ（スル）」、「使い回し（スル）」、「持ち帰り（スル）」…
		ウェブ検索により抽出したもの	0 語	「コーパスにおける品詞情報とその例を見ることにより判断にそれ以上の迷いが生じるということはほとんどないと感じられた」（鈴木 2018 : 46)

しかし、鈴木（2014）、鈴木（2018）は、いずれも「V1+V2 型」複合名詞を中心としており、前節で述べた複合動詞との対応関係を成していないものも扱われている。また、鈴木（2018）の調査対象は複合名詞のサ変動詞化、つまり複合名詞が「する」と直接結合する場合である。そのため、鈴木（2018）はサ変動詞化ができないもののうち、「忍び笑い」と「忍び笑いをする」のように、一部の語はヲ格補語の形をとり「～をする」と表現するのが自然であると指摘しているが、複合名詞が格助詞「を」を介して「する」と結合する場合にはそれ以上触れていない。従って、複合動詞の視点から見れば、鈴木（2014, 2018）のリストから、複合動詞、複合動詞に対応する連用形名詞、及び「連用形名詞+（を）する」表現の対応関係をうかがうことができるが、その対応関係を完全に明らかにするにはさらなる作業が必要である。

また、「仕上げ」「取り付け」などの語は鈴木（2018）のリストに記載されていないが、以下の(3)と(4)の示すように対応する「連用形名詞+する」表現の使用例が観察される。鈴木(2014, 2018)のほか、複合動詞と「連用形名詞+（を）+する」表現の対応関係を扱う研究は管見の限りない。従って、その対応関係を明らかにするために、「連用形名詞+（を）+する」表現をより網羅的に収集する必要があると考えられる。

- (3) フリースの上にフリースを重ね、フリースのマフラー（五百円で購入！）で仕上げして、フリース星人のできあがりである。 （本上まなみ『ほんじょの虫干』）
- (4) 取り付けするときに注意することは？天井に取り付けするとき…火災警報器の中心を壁から六十 cm 以上離します。 （広報いしい 2008）

### 3. 調査範囲

「連用形名詞＋（を）する」表現の存在を確認するためには、連用形名詞の存在が必要条件である。そのため、表1のBとCを調査対象とする。以下、第4節では「複合動詞とそれに対応する連用形名詞」グループのうち、複合動詞形と「連用形名詞＋（を）する」表現がどのような語において共存するのを探り、第5節では「対応する複合動詞のない連用形名詞」グループを扱い、複合動詞形が使用されていないのに、「連用形名詞＋（を）する」表現が使用されている語を調査する。紙幅の都合上、第4節と第5節では各節のリスト化の作業手順のみを述べ、最後に各節で説明した作業手順によって作成したリストをまとめて示す。

## 4. 対応する複合動詞のある「連用形名詞＋（を）する」表現の認定

### 4. 1. 複合動詞に対応する連用形名詞の抽出

複合動詞に対応する連用形名詞の抽出手順は、以下の通りである。

#### 【1】『複合動詞レキシコン』による抽出

『複合動詞レキシコン』の元データ<sup>1</sup>をベースとし、収録されている全2,759語について、『大辞林・第四版』と『新明解国語辞典・第七版』、『複合動詞レキシコン』、携帯素解析ツール「Web茶まめ」を利用し、これら複合動詞の連用形が一つの名詞の見出し語として記載されているかどうかを確認した。いずれか一つにでも記載されていれば、名詞であると判断した。この段階で、820語の複合動詞における連用形名詞が抽出された。

#### 【2】インターネットの検索エンジン Google を用いたウェブ検索による抽出

第一段階で名詞であると判定されなかった複合動詞の連用形を、インターネットの検索エンジン Google を用いて使用例を収集した。以下の(5)と(6)のように、連用形に助詞や複合助詞がつく使用例が見られる場合には、名詞化していると判断し<sup>2</sup>、手作業で補って抽出した。ウェブ検索を行った結果、第一段階の820語のほか、314語の連用形名詞が確認された。

(5) 話し合いは合意形成のツールとして考えられがちだが、目的はそれだけなのだろうか<sup>3</sup>。

(6) 日付写し込みについてのご注意<sup>4</sup>

鈴木(2018)は、複合動詞レキシコンの記載、「現代日本語書き言葉均衡コーパス」の品詞情報と既存の辞書の見出し項目で約980語の名詞形を抽出したと述べている。本稿はウェブ検

索による抽出を補うことにより、鈴木（2018）の980語を含み、合計1,134語の名詞形を抽出した。

#### 4. 2 複合動詞に対応する「連用形名詞+する」表現の抽出

抽出された複合動詞に対応する連用形名詞のリストに基づき、対応する「連用形名詞+する」表現の抽出手順は、以下の通りである。

##### 【1】辞書とコーパス調査による抽出

###### (I) 辞書による抽出

まず、辞書に記載のある「連用形名詞+する」表現を調査した。『大辞林・第四版』と『新明解国語辞典・第七版』にサ変動詞化可能であると記載されている連用形複合名詞は、対応する「連用形名詞+する」表現を持つものとする。

###### (II) コーパスによる抽出

「現代日本語書き言葉均衡コーパス（BCCWJ）」を利用し、対応する「連用形名詞+する」表現を持つ複合動詞を抽出した。「短単位検索」機能を使い、4.1で抽出した複合動詞に対応する連用形名詞をキーに、検索条件「語彙素＝「複合動詞の連用形」AND 品詞の大分類＝名詞」及び「後方共起＝キーから1語＋語彙素＝「為る」」で検索し、用例を収集し、(7)のような書き言葉的な用例<sup>5</sup>を持つ連用形をサ変動詞化可能であると判定した。

- (7) オンザフライ書き込みは、メディアに書き込むためのデータをメモリー上で作りながら、随時書き込みしていく方法だ。イメージからの書き込みと比べると、イメージファイルを作成する作業がない分、書き込み時間が短くなるというメリットもある。  
（杉本 古関『ASAHI パソコン』）

上述した検索条件により、複合動詞の連用形名詞に直接「する」を付加する例文を抽出できた。しかし(8)のように、取立て助詞の挿入などにより、連用形名詞の後方から1語ではなく、後方から2語が「為る」であるものも存在する。このような文は「連用形名詞+する」表現をなしている可能性もあるが、取立て助詞を挿入する際に格助詞「を」の省略が行われたとも考えられるので、判断が難しい。また、キーの後方から2語が「為る」である例文のうち、(9)のようなサ変動詞表現と無関係な用例もしばしば見られる。したがって、本研究は後方共起条件が「後方共起＝キーから2語＋語彙素＝「為る」」であるものを抽出しないことにした。

- (8) 2日経ち、連絡掲示板に至急連絡くれるように書き込みもして、同じ内容をメールでも送信しましたが、それでも連絡がありません。(Yahoo!知恵袋 2005)
- (9) ファイナライズしないと他のドライブから読み出せませんし、一度でも書き込み失敗するとデータは全て消えてしまいます。(Yahoo!知恵袋 2005)

上述した手順を踏まえ、「V1+V2」型複合動詞のうち辞書とコーパスに基づき対応する「連用形名詞+する」表現を持つと考えられるものを計 119 語抽出した。

## 【2】ウェブ検索による抽出

ウェブ検索を行う際、話し言葉的な使用だけでなく、書き言葉的な使用も確認できた場合には、複合動詞に対応する連用形サ変動詞が存在すると判断した。例えば、「押し合う」に対応する「押し合いする」表現が存在すると判断したのは、(10)のような話し言葉的な使用例だけでなく、(11)のような書き言葉的な使用例<sup>6</sup>が複数存在していることを確認できたためである。

- (10) 底が広いデザインなので蒸しケーキなら 6~8 個、マフィンなら 8~10 個、タルトも潰れたり押し合いすることなくたくさん入ります♪♪底にお手持ちのバスケットを入れても可愛いです。<sup>7</sup>
- (11) 日本列島は、地球の表面を包むいくつかのプレートが互いに押し合いする境界付近に位置しており、世界でも有数の地震の多い地域です。<sup>8</sup>

上述した手順により、「V1+V2」型複合動詞のうち対応する「連用形名詞+する」表現を持つと考えられるものを計 112 語抽出した。

鈴木(2018)では対応する動詞形のある V1+V2 型複合名詞約 980 語のうち、「預け入れ」と「預け入れする」のようなサ変動詞化が可能であると考えられるものが 98 語抽出されている。これらの複合動詞の連用形名詞のサ変動詞化が可能かどうかについては、「コーパスにおける品詞情報とその例を見ることにより判断にそれ以上の迷いが生じるということはほとんどないと感じられた」と述べている(p.46)。しかし本研究で行った調査によると、鈴木(2018)が抽出した 98 語以外にも 2 語の複合動詞が対応する「連用形名詞+する」表現を持つことを確認できた。

### 4. 3. 複合動詞に対応する「連用形名詞+を+する」表現の抽出

本項では、複合動詞に対応する連用形名詞のリストに基づき、対応する「連用形名詞+を+する」表現を持つものを抽出する手順を述べる。

## 【1】『複合動詞レキシコン』による抽出

「サ変動詞化可能」と違い、辞書では連用形名詞が対応する「連用形名詞+を+する」表現を持つかどうかは記載されていないため、辞書調査をする必要がない。そこでまず、『複合動詞レキシコン』を対象とし、以下の(12)のように、意味が「連用形名詞+を+する」の形で解釈されている複合動詞を Excel の「検索」機能で計 9 語抽出した。

## (12) 「縫い取る」

縫い取りをする。刺繍する。

N1 ガ N2 ニ N3 ヲ縫い取る

(『複合動詞レキシコン』より編集)

## 【2】コーパスによる抽出

BCCWJ で複合動詞に対応する「連用形名詞+を+する」表現を抽出した。抽出にあたって、「短単位検索」機能を使い、4.1 節で抽出した複合動詞に対応する連用形名詞をキーに、検索条件「語彙素＝「複合動詞の連用形」AND 品詞の大分類＝名詞」及び「後方共起＝キーから 1 語＋語彙素＝「を」及び「後方共起＝キーから 2 語＋語彙素＝「為る」」で検索し、用例を収集した。

4.2 節で述べたように「連用形名詞+する」表現を抽出する際には、話し言葉において「連用形名詞+を+する」表現の「を」が省略されたものを排除するため、書き言葉的な用例のみを認めることにしたが、「連用形名詞+を+する」表現の抽出にあたっては、その手順を必要としない。そのため、BCCWJ において用例があるもの全てを対応する「連用形名詞+を+する」表現をもつと判定した<sup>9</sup>。上述した手順を踏まえ、コーパス調査によって収集できた「連用形名詞+を+する」表現を持つ複合動詞は計 197 語ある。

## 【3】ウェブ検索

4.2 節では、カジュアルな場面で非書き言葉的な文でしか現れない「連用形名詞+する」表現を「連用形名詞+を+する」表現における「を」が省略されたものであると見なし、対応する「連用形名詞+する」表現を持つグループから取り除いた。本節では、その判定が必要でなくなっている。出現回数が、2 回に限られる未定着なもののみを「連用形名詞+を+する」表現をもつグループから取り除いた。ウェブ検索によって計 62 語の複合動詞が対応する「連用形名詞+を+する」表現を持つと確認できた。

以上の手順を踏まえ、4.1 で抽出した連用形が名詞化できる複合動詞のうち、対応する「連用形名詞+を+する」表現を持つもの計 269 語を抽出した。

#### 4. 4. 複合動詞と「連用形名詞＋（を）する」表現の対応リスト

抽出した複合動詞と対応する「連用形名詞＋（を）する」表現を使用頻度によって、複合動詞・「連用形名詞＋する」表現・「連用形名詞＋を＋する」表現の順で表記し、分類を行った。具体的な使用頻度と対応する表記は以下の表4に示す。対応表現が使われていない場合、「0」で示す。

表4 分類基準

BCCWJ：100例以上	A	BCCWJ：20例以上100例未満	B
BCCWJ：20例未満・ウェブ検索：20例以上	C	BCCWJ：20例未満・ウェブ検索：20例未満	D
BCCWJ：0例・ウェブ検索：20例以上	E	BCCWJ：0例・ウェブ検索：20例未満	F

分類結果を踏まえ、複合動詞と「連用形名詞＋（を）する」表現の対応関係を以下の表5に示す。

表5 対応する「連用形名詞＋（を）する」表現を持つ複合動詞

対応する「連用形名詞＋する」表現のみを持つ複合動詞（53語）		
AC0：差し引く	AE0：切り上げる	
AD0：切り取る、差し替える、据え付ける、焼き付ける、割り振る		
AF0：請け負う、打ち切る、押し出す、折り畳む、借り受ける、繰り入れる、詰め込む、取り替える、取り壊す、取り外す、煮出す、はめ込む、張り出す、引き締める、見逃す、焼き付く		
BD0：生け捕る、凍え死ぬ、積み出す、割り付ける		
BF0：書き下ろす、切り回す、差し戻す、死に別れる、吸い出す、染め抜く、取りこぼす、取り回す、乗り捨てる、払い下げる、巻き取る、咽び泣く		
CC0：煮崩れる	CD0：呼び捨てる、割り戻す	
CF0：生き別れる、売り急ぐ、書き抜く、死に急ぐ、染め分ける、継ぎ合わせる、持ち回る		
DF0：作り付ける	ED0：引き合わせる	EF0：置き忘れる、貼り付ける
対応する「連用形名詞＋（を）する」表現両方を持つ複合動詞（178語）		
AAA：引越す	AAB：受け付ける、問い合わせる	ABC：差し入れる
ABA：打ち合わせる、届け出る、申し込む		AED：払い戻す
ABB：書き込む、借り入れる、取り消す、振り込む、待ち合わせる		
ABD：使い分ける、盗み見る、割り引く		ACD：切り捨てる
ADA：見直す、申し立てる、申し出る	ADC：追い越す、取り合う、寝返る	
ADB：入れ替える、着替える、繰り上げる、差し押さえる、仕上げる、積み立てる、取り扱う、		

取り決める、取り締まる、見張る、申し入れる、呼び掛ける、読み聞かせる			
ADD: 植え付ける、受け入れる、埋め立てる、売り込む、思い込む、折り返す、買い上げる、買い入れる、買い付ける、買い取る、貸し出す、貸し付ける、勝ち越す、切り替える、組み合わせる、組み替える、組み立てる、仕入れる、絞り込む、仕分ける、据え置く、立ち会う、建て替える、立て替える、使い回す、掴み取る、突き合わせる、積み上げる、飛び込む、取り調べる、取り立てる、取り付ける、乗り入れる、乗り換える、張り込む、引き上げる、引き受ける、引き落とす、引き継ぐ、引き渡す、振り分ける、見送る、見積もる、持ち帰る、持ち込む、盛り付ける、譲り受ける、読み込む、読み取る、割り当てる			
ADF: 打ち上げる、すすり泣く、立ち退く、通り抜ける		AFB: 働き掛ける	
AFD: 明け渡す、売り出す、売り渡す、掛け合う、聞き取る、折り返す、繰り越す、繰り下げる、座り込む、立ち入る、付き添う、付け替える、積み込む、出迎える、問い掛ける、取り入れる、取り下げる、取り次ぐ、取り寄せる、投げ込む、縫い合わせる、抜き取る、塗り替える、払い込む、引き下げる、引き出す、引き取る、引き抜く、見回る、持ち出す、呼び出す、割り込む			
AFF: 買い戻す、刈り取る、投げ捨てる、吹き込む、吹き付ける、呼び込む			
AFA: 付き合う		BBD: 狙い打つ、覗き見る	
BCB: 飾り付ける、聞き込む		BCD: 掛け持つ	BCF: 咎め立てる
BDB: 言い争う、埋め合わせる		BDF: 住み込む、引き分ける	
BDD: 預け入れる、居残る、受け渡す、買い占める、書き取る、借り上げる、こじ付ける、住み替える、立ち回る、垂れ流す、使い捨てる、払い出す、引き当てる、持ち運ぶ、			
BFD: 洗い出す、行き違う、押し合う、刈り込む、煮付ける、巻き返す、巻き戻す			
BFF: 言い逃れる、返り咲く、貸し切る、乗り越す		CBD: 盗み聞く	
CDD: 出し惜しむ、縫い取る	CDF: 飛び入る	CFC: 刈り入れる	
CFD: 引き写す	CFF: 買い控える	DBB: 仕返す	DDD: 書き置く
DDF: 売り惜しむ	EDD: 着こなす	EDF: 討ち入る	EFF: 泣き寝入る
対応する「連用形名詞+を+する」表現のみを持つ複合動詞 (91 語)			
AOD: 歩み寄る、言い渡す、打ち込む、打ち出す、埋め込む、売り払う、押し込む、押し付ける、書き替える、数え上げる、切り抜く、組み込む、仕切る、仕組む、仕向ける、締め切る、刷り込む、立ち上げる、使い込む、付け足す、積み重ねる、煮詰める、寝入る、乗り継ぐ、走り込む、張り込む、引き延ばす、振り掛ける、掘り下げる、見掛ける、見極める、見舞う、結び付く、申し渡す、揉み合う、分かち合う、割り切る			
AOF: 追い込む、追い立てる、買い込む、書き入れる、吸い上げる、すれ違う、照らし合わせる、願い出る、引き合う、見立てる、見抜く			

BOD: 編み込む、鑄込む、出で立つ、打ち合う、打ち壊す、追い上げる、生い立つ、折り込む、切り合う、せせら笑う、競り合う、食べ残す、継ぎ足す、飛び越す、取り計らう、取り持つ、成り立つ、読み下す		
BOF: 打ち返す、選り分ける、書き足す、担ぎ出す、切り崩す、垂れ込む、縫い込む、封じ込む、見繕う、譲り合う、譲り渡す、寄り合う		
COD: 聞き違える、着せ替える、締め込む	AOB: 取り組む	COE: 染め出す
EOD: 追っ掛ける、作り替える、突っ込む、乗っ取る		COF: 縫い上げる
DOE: 流し打つ	EOF: 炊き出す	COD: 触れ込む

考察対象とした連用形名詞を持つ複合動詞 1134 語のうち、「連用形名詞＋する」表現を持つもの計 231 語、「連用形名詞＋を＋する」表現を持つもの計 269 語、いずれの表現も持つものが計 178 語ある。対応する「連用形名詞＋（を）する」表現を持つものが全体に占める割合は 28.4% で高いとは言えないが、同じく動作性の概念を表すものである複合動詞と「連用形名詞＋（を）する」表現が共存している現象は周縁的で例外的ではないことが確認できる。

## 5. 対応する複合動詞のない「連用形名詞＋（を）する」表現の認定

### 5. 1. 対応する複合動詞のない連用形名詞の抽出

対応する「連用形名詞＋（を）する」表現の存在は使用例の存在で確認しているため、連用形名詞がある程度一般的に使われるものでなければ、対応する「連用形名詞＋（を）する」表現の存在も確認できない。そのため、鈴木（2014）の 5 つのリストのうち、BCCWJ とウェブ検索で使用例がほぼ観察されなかった「合わせ吹き」のような「使用分野が特定されるもの（250 語）」と「当て仕舞」のような「日常的に用いられにくいもの（85 語）」を対象外とし、「現代日本語として一般的に用いられるもの（166 語）」、「対応する動詞形が用いられにくいと思われるもの（20 語）」及び「対応する動詞形を想起しにくいもの（2 語）」<sup>10</sup> の三つのリストを対象とした。しかし、鈴木（2014）のリスト化の対象は複合名詞であるため、複合動詞との対応関係を成していないものも含まれる。そこで、本稿の研究対象である対応する動詞形のない連用形名詞を計 161 語抽出した。

### 5. 2. 複合動詞に対応しない「連用形名詞＋する」表現の抽出

5.1 節で抽出した全ての連用形名詞について、4.2 節と同じ手順でサ変化動詞化可能かどうかを確認した。「現代語として一般的に用いられるもの」のうちサ変動詞化可能であるもの 86 語（辞書から 61 語、BCCWJ から 7 語、ウェブ検索から 18 語）、「対応する動詞形が用いられにくいと思われるもの」から 7 語（すべて辞書から）、合計 93 語を抽出した。「対応する

動詞形を想起しにくいもの」にはサ変動詞化可能なものがなかった。

そのうち、「忍び笑い」は鈴木（2018）によって「対応する「連用形名詞+する」表現を持たず、「連用形名詞+を+する」表現のみを持つもの」として取り上げられているが、今回の調査では「忍び笑いをする」だけではなく、以下の(13)のような定着した「忍び笑いする」の使用例も複数観察されたため、「忍び笑い」を本稿のリストに入れることにした。

(13) 「主観主義」の中学生どもは、永続革命の概念について忍び笑いするがいい。<sup>11</sup>

また、「雇い止め」は鈴木（2018）によって対応する「連用形名詞+する」表現を持たず、「～になる」または「～にする」で使用されるグループに分けられているが、今回のウェブ検索により、(14)のような「雇い止めする」の使用例が複数観察されたため、本稿のリストに入れることにした。

(14) 有期労働契約において、契約を更新しないことが明示されていない場合、次の労働者を雇い止めするときには、当該契約期間の満了する 30 日前までにその予告をしなければなりません。<sup>12</sup>

### 5. 3. 複合動詞に対応しない「連用形名詞+を+する」表現の抽出

5.1 節で抽出した全ての連用形名詞について、4.3 節と同じ手順で対応する「連用形名詞+を+する」表現を持つものを確認した。ただし、第 5 節で扱うのは対応する複合動詞のない連用形名詞であるため、『複合動詞レキシコン』は利用できない。従って、まず BCCWJ を利用して使用例を確認し、それからウェブ検索を行った。その結果、「現代語として一般的に用いられるもの」のうち「連用形名詞+を+する」表現を持つもの 65 語（BCCWJ から 44 語、ウェブ検索から 21 語）、「対応する動詞形が用いられにくいと思われるもの」のうち 6 語（BCCWJ から 5 語、ウェブ検索から 1 語）、合計 71 語を抽出した。「対応する動詞形を想起しにくいもの」には対応する「連用形名詞+を+する」表現を持つものがなかった。

### 5. 4. 対応する複合動詞のない「連用形名詞+（を）する」表現のリスト

5.2 と 5.3 の調査を踏まえ、抽出した対応する複合動詞を持たない「連用形名詞+（を）する」表現を 4.4 節と同じように使用頻度による分類を行った。その結果を以下の表 6 に示す。

表 6 対応する複合動詞のない「連用形名詞+（を）する」表現

対応する複合動詞のない「連用形名詞+する」表現（22 語）	
OC0: 抜き書き、着太り、着痩せ	OE0: 重ね刷り、寝泊まり、着映え

OD0: 覚え書き、立ち売り、飲み逃げ、走り読み		
OF0: 恨み死に、崩し書き、戯れ書き、作り泣き、続け書き、抜き写し、抜き刷り、量り減り、挽き売り、紛れ当たり、焼き太り、割り書き		
対応する複合動詞のない「連用形名詞＋（を）する」表現（71）語		
OAA: 取り引き	OBB: 居眠り	OBC: 添い寝、もみ洗い、重ね着
OBD: 討ち死に、切り盛り、立ち読み、つまみ食い、持ち逃げ、飢え死に、駆け落ち、走り書き		
OCD: 逢い引き、押し売り、買い食い、聞き書き、照れ笑い、投げ売り、抜き差し、乗り逃げ、不貞寝、選り好み		
OCC: 駆け引き、煮炊き、盗み食い、振り洗い		OCE: 回し飲み
ODC: 考え違い、立ち泳ぎ、使い走り、作り笑い		OCF: 盗み読み
ODD: 隠し立て、隠し撮り、食い逃げ、透き見、立ち食い、摘み洗い、飛ばし読み、留め立て、盗み撮り、寝押し、量り売り、轆き逃げ、回し蹴り、寄せ書き、割り増し		
ODE: 添え書き	ODF: 当て逃げ、立ち飲み	OEC: 忍び笑い
OEF: 切り貼り、焼き増し		OFE: 試し書き、思い出し笑い
OFD: 売り食い、返し縫い、抱き寝、流し撮り、雇い止め、貰い笑い		
OFF: 敷き写し、追い焚き、置き引き、重ね切り、掴み洗い、殴り書き、なぞり書き、走り競べ、焼き討ち		
対応する複合動詞のない「連用形名詞＋を＋する」表現（0）語		

調査対象とした 161 語の連用形名詞のうち、「連用形名詞＋する」表現のみを持つものは 22 語あるのに対し、「連用形名詞＋を＋する」表現のみを持つものは 0 語である。つまり、抽出した 93 語のうち、いずれの表現も持つものは計 71 語ある。

「連用形名詞＋（を）する」表現を持つものが複合動詞形のない連用形名詞全体に占める割合は 57.8%で、「連用形名詞＋（を）する」表現を持つものが複合動詞形のある連用形名詞全体に占める割合 28.4%に比して高い。これは、複合動詞形のあるグループの場合、もとの動詞形が使われているため、「それと同じ意味の語を新しく作ることは言語の経済性によって避けられる」（影山 1993:29）という「語彙の阻止」現象が起きていると考えられる。しかし前述したように、対応する「連用形名詞＋（を）＋する」表現を持つ複合動詞は実際に数多く存在するので、「語彙の阻止」のみではこの現象を説明できない。これについての考察を今後の課題としたい。

## 6. まとめと今後の課題

本稿では、辞書調査、コーパス調査とウェブ検索の手順で「連用形名詞+（を）する」表現を網羅的に抽出した。その結果、対応する複合動詞のある場合、「連用形名詞+する」表現を持つものが230語、「連用形名詞+を+する」を持つものは269語抽出された。また、対応する複合動詞がない場合、「連用形名詞+する」表現をもつものが92語、「連用形名詞+を+する」表現を持つものが70語抽出された。その結果に基づき、「V1+V2」型複合動詞とそれに対応する「連用形名詞+（を）する」表現をリスト化して示した（表5、表6）。リスト化にあたって、対応する「連用形名詞+を+する」表現が存在するかどうかは、もとの動詞形が使われているかどうかによって大きく影響されていることが観察された。しかし、対応する「連用形名詞+を+する」表現を持つものと持たないものについて、その特徴と共通点を分析することは、今後の課題として残された。

ただし、同じく動作性の概念を表すものである複合動詞と「連用形名詞+（を）する」表現が共存する現象も一般的に存在している。「連用形名詞+（を）する」という新しい動詞表現の形成がもとの複合動詞の存在によって阻止されていない以上、複合動詞とそれに対応する「連用形名詞+する」表現の意味には何らかの違いが存在すると考えられる。

実際の使用例からも、この意味の違いが観察される。ここでは、「引っ越しする」を例としてあげたい。以下の(15)の示すように、一部の場において、「引っ越しする」は単に移動を表すのではなく、「環境の整備」や「部屋の片付け」など、住所を転移することを中心に、住所の転移も含めて取り組む活動全体を表すことが読み取れる。

- (15) いろいろ環境整備したり、部屋を片付けたり、引っ越しするって、大変です。なので、ブログをサボってるわけではありません。(Yahoo!ブログ2008)

複合動詞と「連用形名詞+（を）する」表現の各ペアにおいて意味の違いに何らかの共通点があれば、すべての複合動詞とそれに対応する「連用形名詞+（を）する」の意味の違いを体系的に捉えることが可能になる。具体的な意味分析によってその共通点を明らかにすることを今後の課題としたい。

### 注

- (1) 複合動詞レキシコンの中に記載されている全ての複合動詞とそれに関する情報を Excel ファイルに整理したもの。複合動詞レキシコンのホームページからダウンロードできる。
- (2) ただし、使用例の出現回数が2回以下であるもの、カジュアルな場面における非書き言葉的文でしか現れないもの、ゲームの必殺技にしか使われていないもの、歌・記事・出版物

のタイトルでしか現れないものは、名詞化の不完全或いは未定着なものとし、**「名詞化可能」**グループから除外した。また、連用形につく助詞が**「の」**である場合、**「の」**の後ろにくる名詞が**「意味」**、**「例文」**、**「使い方」**、**「英語訳」**などである使用例は認めない。このような場合では連用形は一語として使われているだけで、名詞として使われているわけではない。

- (3) <https://www.hituzi.co.jp/hituzibooks/ISBN978-4-8234-1002-4.htm>(最終閲覧日：2022年7月25日)
- (4) [https://onlinemanual.nikonimglib.com/d3500/ja/14\\_menu\\_03\\_03.html](https://onlinemanual.nikonimglib.com/d3500/ja/14_menu_03_03.html)(最終閲覧日：2022年7月25日)
- (5) 会話文でないもの、かつ格助詞が省略されていないものを**「書き言葉的なもの」**であると判定した。
- (6) **「連用形名詞＋する」**の形で用いられるケースがあるものには、出現回数が1,2回と限られているもの、またはカジュアル場面における非書き言葉的文でしか現れないものも見られる。これらのものは連用形がサ変動詞化して形成されてものではなく、**「連用形名詞＋を＋する」**表現において**「を」**が省略されたものであると見なし、**「サ変動詞化できる」**リストに入れなかったことにした。
- (7) <https://www.tabebatake.com/product-page/tabebatake-ecobag>(最終閲覧日：2022年7月25日)
- (8) <https://www.pref.oita.jp/soshiki/13550/jishin-katsudansou.html>(最終閲覧日：2022年7月25日)
- (9) BCCWJにおいて用例数が1,2例と限られているものであっても、**「打ち切りをする」**以外、後述するウェブ検索を行った際に、一般的に使われていることが確認できた。そのうち、**「使い捨てる」**については、**「使い捨てにする」**がよく使われてはいるが、**「使い捨てをする」**も一般的な表現であることが確認できた。
- (10) 対応する動詞形が想起しにくいグループの語は、対応する動詞形があるとは言え、その動詞形は古語に近く、『複合動詞レキシコン』にも記載されておらず、ウェブ検索によって現代日本語においての使用例も観察されなかったため、本稿で扱う**「対応する動詞形のない連用形名詞」**範囲に属すると考えられる。
- (11) <https://www.marxists.org/nihon/trotsky/1910-2/parvus.htm>(最終閲覧日：2022年7月25日)
- (12) <https://www.pref.kyoto.jp/kyoroi/yatoidome.html>(最終閲覧日：2022年7月25日)

### 参考文献

- 影山太郎 (1993) 『文法と語形成』 ひつじ書房
- 西尾寅弥 (1961) 「動詞連用形の名詞化に関する一考察」 『国語学』 43 : pp. 60-80
- 松村明 (編) (2019) 『大辞林 第四版』 三省堂
- 鈴木智美 (2014) 「現代日本語における対応する動詞形のない V1+V2 型複合名詞-辞書に基づくリスト化-」 『日本語・日本学研究』 4 : pp. 95-109
- 鈴木智美 (2018) 「サ変動詞を形成する V1+V2 型複合名詞 -対応する複合動詞の有無に基づく違いの観点から-」 『日本語・日本学研究』 8 : pp. 37-49

### 例文出典

- Google (<https://www.google.com/>)(最終閲覧日：2022年12月13日)
- 国立国語研究所『現代日本語書き言葉均衡コーパス (BCCWJ) バージョン 2021.03』中納言 (2.6.0) (<https://chunagon.ninjal.ac.jp>)
- 『複合動詞レキシコン (国際版 ver. 1.11) 』 (<https://vlexicon.ninjal.ac.jp>)